

Q 柳村村政の基本方針は

A 第5次総合計画を尊重



熊谷 初男 議員 (JCS&M)

Q1 本村では、「地域は地域のみならず、なでしこ」を基本に、第5次総合計画が進行しています。次世代が満足できる地域社会づくりを目指した村政運営が、最大の行政課題と見做します。そこで、2点について伺います。

①第5次総合計画への考えは。
②本村の財政運営への考えは。

A1 ①基本構想は、住民パートナーの参画を得ながら策定されたものであり、住民ニーズを実現するため、政策となる基本計画についても私の最重要課題と一致する部分が多いと認識しています。
従って基本構想、前期基本計画は見直す考えはなく、これを尊重し村政執行にあたります。ただし、実行計画は環境の変化等により見極めながら対応します。
②安定した歳入の確保と行政経費の縮減が必要であると考えます。地域産業の経営基盤の育成・強化と企業誘致による雇用拡大の構想を目指します。

A2 ①調査結果は、小学校8校中5校、中学校6校中4校の計9校であり、既に5校は解決済みです。防止については、教職員全員で早期発見、早期対応を目指すよう校長会議などを通じ各学校に徹底してまいります。
②家庭教育は、生活習慣や善悪判断、社会生活上のルールなど資質や能力を育成する教育の出発点です。「小中学校家庭教育学級」「幼児家庭教育講座」などを実施し、また、「家庭教育手帳」の配布による啓蒙活動など、情操豊かな青少年の育成に努めます。



▲南中学校で開催された小中学校家庭教育学級

Q2 連日のように子供たちが犠牲者となる事件が発生しており、特に

青少年の健全育成は

①第5次総合計画への考えは。
②本村の財政運営への考えは。

も、いじめによる自殺など重要な社会問題であります。
①村内小中学校におけるいじめの実態と、防止の教育指導内容は。
②家庭・地域を含めた社会教育の推進は。

Q 行政運営の基本姿勢は

A 住民との対話を基本に



西村 繁 議員

Q1 このたび村長に就任され行政運営を行うにあたり次のことについて質問します。
①基本的政治理念は。
②適正な行政運営の考えは。
③新年度の施政方針策定は。

A1 ①本来政治は、弱い立場の人や困っている人を助けるものと考えています。そのため「村民との対話を基本にし、声なき人々の心情も察しながら、透明、公平、公正で信頼される村政の確立」を



▲対話を大切に！「村政懇談会の様子」

目指し、「信頼、決断、実行の政治」に努めてまいります。また、限られた資源の中で選択と集中をしていかなければならない状況下にあることから、生活者の視点で皆さんの声を村政に取り入れ、子ども達やお年寄りに関することは優先すべきと考えています。
②行政の行うことが住民にとって豊かさを実感できるように努めます。分権時代の自治体運営は、住民との対話を大切にしながら進めていくことが重要であると考えてお

り、わかりやすい組織で、財政状況がより透明で、職員がこれまで以上に住民の中に入って話しを聴いてくる姿勢が必要であると認識しています。また、その結果、政策の「選択と集中」が可能になると考えます。
③「施政方針」の意義は、総合計画の前期基本計画を具体的に推進していく実行計画に基づいて、当該年度に執行すべき予算の考え方、およびその概要を示すものと理解しています。

議決されている前期基本計画を尊重するという基本姿勢で村政執行にあたってまいります。実行計画は住民ニーズや村内事情の変化、村財政を取り巻く環境の変化等について、選択と集中を図りながら見極めて対応していきます。
さらには、先の選挙戦を通じていただいた住民の声をどのような形で反映させるのかも分析検証した上で、19年度の予算を編成してまいります。